

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた

「分かる!」「できる!」学校全体で取り組む授業の土台づくりハンドブック活用事例

1 活用した項目(該当する内容は□を☑に変えて表示)	
<input checked="" type="checkbox"/> すべての子どもを対象とした校内支援体制整備の在り方	<input checked="" type="checkbox"/> すべての子どもにとって過ごしやすい環境づくりと実践例
<input checked="" type="checkbox"/> 「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方と実践例	<input type="checkbox"/> 「分かる」「できる」を実感できる授業づくりチェックシート

2 活用場面

- 主題研究「学力向上を全ての子どもたちに!

～特別支援教育の視点を生かした授業改善を通して～への活用

3 活用対象

- 全職員(専科、栄養教諭、養護教諭含)

4 活用の詳細

〈1学期〉

学級の実態を把握し、効果的な手立てを模索する。

- ① 各学級児童の実態調査(「ハンドブック」記載の児童用、担任用)を行い、結果分析をする。(全学級)
- ② 分析をもとに具体的な手立てを「ハンドブック」を参考にしながら挙げる。

〈2学期〉

手立てを実践しながら、児童の変容に目を向ける。

- ① 夏季休業中に、「めざす児童の姿」「特別支援教育の視点を生かした授業における支援」について「ハンドブック」を参考にしてまとめたカードを作成し、日々の授業に生かす。
- ② メンター方式で行う初期研修の模範授業に関しては、指導案等に特別支援教育の視点に関わる実態や手立てについても記入する。
- ③ 学校訪問(全員授業)での授業では、指導案に「児童観や指導観の中に、特別支援教育の視点に関わる実態や手立てについて触れ、下線を引く」「特別支援教育の視点を生かした授業における支援を授業中にどのように取り入れるのか、学習過程の指導上の留意点の中に具体的に記す」など、普段から実践している「ハンドブック」を参考にした具体的な手立てを取り入れた授業展開を行う。

〈3学期〉

アンケートをもとに振り返り、来年度につなげる。

- ① 1学期に行った実態調査を再度行い、変容をみる。
- ② 学力テスト等の結果分析を行い、「学力向上を全ての子どもたちに!」の目標達成度を振り返り、成果と課題を考えることで、次年度へつなぐ。